第１回長柄小学校学校運営協議会　協議結果

■日　時　令和８年５月２２日（金）　９：３０～１１：２０
■場　所　邑楽町立長柄小学校校長室
■参加者　運営委員　阿部、三ツ村、廣田、小澤、茂木、猿橋、橋本、柴﨑、柳幸　欠席：竹田
　　教育委員会　小林教育長、川島課長、黒澤補佐、濵指導主事
　　長柄小学校　齋藤教頭、佐藤教務主任
■概　要　・委嘱状交付及び教育委員会挨拶
　　・コミュニティ・スクールについての説明
　　・学校運営の基本的方針の承認
　　ⅰ）地域として、子供達に身につけさせてほしい資質・能力について意見交流
　　ⅱ）ⅰのうち、学校教育の影響が大きいと思われる資質・能力を選出
　　ⅲ）ⅱと学校運営基本方針との整合性を確認し、承認
　　・今後の予定
■詳　細　以下の通り

１　委嘱状交付
　　教育長より手交
　　竹田委員は欠席のため、校長が預かる

２　教育委員会挨拶（川島課長）

３　説明「コミュニティ・スクールについて」（柳幸校長）
　○定義
　・地域住民１０名程度からなる学校運営協議会を設置した学校がコミュニティ・スクール

　○目的１
　・条例等では、「家庭・学校・地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを目指す」となっており、具体的活動は示されていない。各学校の実状に応じたコミュニティ・スクール、学校運営協議会を模索する必要がある。
　・他校の例
　　授業で活用してほしい地域の文化、史跡、産業等についての協議
　　不登校やＰＴＡ停滞等の課題について、地域と連携した解決策を協議
　　外部講師や学校支援ボランティアについて情報提供
　　外部講師や学校支援ボランティアとして活動
　・学校運営協議会は、協議や情報提供が主たる活動。必ずしも委員自身が支援ボランティアとして活動する必要はない。

　○目的２
　・地域と学校の関係を「支援」から「連携・協働」に変えていくこと。
　・子供を育てるのは学校の役割であり、地域は学校を支えるという「支援」のイメージを、学校・公民館・地域スポーツ団体・役場・育成会など子どもたちにかかわる地域の大人・団体が、それぞれの役割を果たしつつ協力しあう「連携・協働」のイメージに変えていく。

・「連携・協働」を実現するには、子供にかかわる大人・団体が「長柄地区の子供たちはこんな子供に育ってほしい」という共通の思いを持つことが重要。学校運営協議会がその一助になることが望まれる。

○学校運営協議会の３つの機能
・「学校運営の基本的方針の承認」
承認されなければ学校運営を始めることができない、非常に重要な機能。但し、基本方針を微に入り細に入りチェックし承認する必要はない。「思いやりのある児童を育てる」「基礎的な学力を定着させる」など、大きな方向性が地域の方々の願いと合致していれば承認して良い。
・「学校運営に意見を述べる」
運動会の在り方、総合的な学習の時間に取り上げてほしいテーマなど、より具体的な内容について意見を述べたり協議したりする。承認ではないので、意見を取り入れ実行するかは学校長の判断に任せられる。
・「職員の任用について意見を述べる」
あの先生を辞めさせてほしいなど個人の任用について意見するものではない。「邑楽町を好きな子供を育ててほしいので、邑楽町出身の教員を任用してほしい」「英語力を高めるため中学校の英語教諭の資格を持った教員を任用してほしい」など、学校運営の基本方針を実現するために必要な教員の任用を意見する機能である。

○今年の目標
・この３つの機能と先ほどの目的の関係性は、説明を聞いただけでは想像しにくい。今年度は、この３つの機能を実際に体験しながら勉強する１年にしていきたい。

４　協議
（学校長）協議については、進行役を柴﨑委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか
－拍手－
（学校長）柴﨑委員、協議の進行をお願いいたします。

○自己紹介

○グループ協議（長柄の子供達に身につけてほしい資質・能力）
・３つのグループに分かれ「長柄の子供たちに身に付けてほしい資質・能力」「こんな子供・大人に育ってほしい」をテーマに意見交流
・出された意見を、「家庭教育が重要なもの」「学校教育が重要なもの」「地域の教育が重要なもの」に分類
・各グループで出された意見及び分類した結果

	グループ１ 廣田・橋本・竹田	グループ２ 三ツ村・阿部･柳幸	グループ３ 小澤・茂木・猿橋
家 庭 教	･自己主張できる子 ･思いやりのある子 ･力強く生き抜く力を持つ	･挨拶のできる子 ･思いやりのある子 ･優しさ･素直さを持った	･挨拶ができる子 ･人の命を大切にする子 ･自分以外の人の気持ちを思い

育が重要	子 ･自分の持ち物を大切にする子	子/大人 ･何かに挑戦できる子 ･自分で考えられる子	やれる子
学校教育が重要	･他人の意見を聞いて考えられる子 ･コミュニケーション能力	･学力を身につける ･自分の将来について考えられる子 ･人権に配慮できる子 他人の考え･自分と違う考えを受け入れられる子	･社会の一員として働くために必要な知識 ･環境負荷軽減に向けた取組の大切さを理解してほしい ･気軽に挨拶できる子
地域の教育力が重要	･地域を理解してくれる子 ･災害が起こったときに慌てずに行動できる子 ･大人になって地元に戻り仕事ができる ･地域を自慢できる子 ･地元愛 ･邑楽町を住みやすい町にするために行動できる子 ･長柄の自然や良さを大切にしながら時代に合った社会を築こうとする子 ･挨拶のできる子 ･外国籍の子どもとも仲良くできる子	･地域のイベントに参加する子 ･邑楽町・長柄地区が好きな子 ･スポーツなどに挑戦する子	･地域の産物を知る。 ･長柄で生産された農産物がおいしいわけを知ってほしい ･長柄地区･邑楽町に住み続ける子 ･社会の一員として地域の方々とつながれる子 ･自然豊かな長柄地区の素晴らしさを理解してほしい 心も体も鍛えられるスポーツ活動に参加してほしい

○全体発表（学校教育を通して伸ばしてほしい資質･能力）

・重要と思われるものに絞り、発表

	グループ１ 廣田・橋本・竹田	グループ２ 三ツ村・阿部･柳幸	グループ３ 小澤・茂木・猿橋
家庭	思いやり	思いやり あいさつ	人の気持ちを思いやれる子
学校	コミュニケーション あいさつ	学力 人権教育	社会の一員として働ける子
地域	地元が好きな子	地域イベントに参加する子、邑楽町が好きな子	地域を盛り上げられる人 地域の魅力を知っている子 ずっと長柄に住んでくれる子

○学校運営の基本的方針の説明

・学校運営方針のイメージ図を配付

（柴﨑委員）学校教育に特に期待することとして、「学力」「コミュニケーション能力」「人権教育」「社会の一員として活躍する力」「挨拶」があげられた。長柄小学校の運営方針に合っているように感じる。学校長、いかがか

（学校長）　学校教育が重要と思われることはもちろん、家庭教育や地域の教育力が重要とされている内容も含んだ基本方針となっていると思います。「挨拶」に関わることが基本方針では触れていませんが、しっかりと指導していきます。また次年度の指導方針の中には記載したい

〇承認

（柴﨑委員）「学力」は、確かな学力の育成、基礎的な知識・技能の習得の部分が該当すると感じる。「コミュニケーション能力」は、めあて・対話・まとめ・振り返りの実践の部分が深く関係する。「人権教育」は豊かな人間性の育成、道徳教育・人権教育として、しっかりと示されている。「社会の一員として活躍する力」は社会に参画する態度の部分が該当するろう。

私たちが学校教育が重要と考えた資質・能力の育成を含んだ学校運営基本方針となっており、承認できると思われますがいかがか。

－拍手－

（柴﨑委員）令和８年度学校運営の基本的方針を承認することとします。

（学校長）　承認していただきありがとうございます。

５　今後の予定

（学校長）　第２回では、「学校運営についての意見」について協議したい

（柴﨑委員）第２回の際は、授業の様子を見学したい。

（学校長）　授業視察も予定している。子供の様子をよく見ていただき、御意見をお聞かせください。

（学校長）　第３回では、授業視察の結果や学校評価アンケートや踏まえ、次年度の学校運営方針に向けた協議を行いたい。

８月５日の研修会は、令和９年度からコミュニティ・スクールとなる他校の委員候補者を対象とした研修会となっている。長柄小の委員の皆様も参加可能と聞いているので、具体的な案内が来たら追ってお知らせする。

－閉会－

※補足　グループ協議中の雑談より

（廣田委員）こういった協議会では、最初に提案者が課題点を示し、その解決策について協議するものではないのか。

（学校長）　このグループ協議を通して、課題点を見つけ共通理解したいと考えているがいかがか。

（柴﨑委員）子どもたちに身につけてほしい資質能力、育ってほしい姿は、課題点の裏返しだと思う。日頃、子どもたちの様子を見て課題と感じているところが、身につけてほしい能力、育ってほしい姿となるだろう